NPO法人ありんこ公式ホームページ
arinnko.sakura.ne.jp

右のQRコードを読み込むと、ホームページを閲覧できます。

ありんこだより

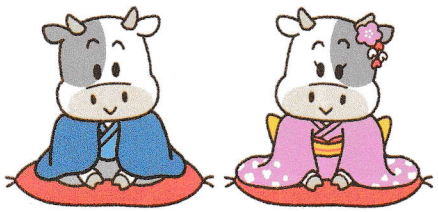
発行 NPO法人ありんこ編集部
編集責任者　一戸 由佳
住所 青森県弘前市大字富栄字笹崎80－1
電話 0172－96－2774
Fax 0172－55－9591

新年あけましておめでとうございます

2020年は新型コロナに振り回された1年でした。そして2021年は、ワクチンが救世主となるのか。沢山の不安を抱えたまま新しい年を迎えました。会員、関係者の皆様には日頃より当法人の活動にご理解とご協力をいただき本当にありがとうございます。

今年は、昨年残念ながら実施できなかった「ありんこまつり」も、いろいろな工夫をして安全に開催したいと思います。記念すべき第10回目の祭りとなりますので、皆さまどうぞご期待ください。

また、本紙にて紹介させていただいている、法人の新規事業「生活介護事業」もいよいよ4月から動き出します。法人としてはスタートと同時に「ありんこ村」設立にむけて、何ができるか、どうすればできるか、どんな形でするのかを具体的にしていくことが重要になります。



会員の皆様とも意見交換等を行いながら、出来る限りスピーディーに「村」の建設をすすめていきますので、今年も私たちの活動にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ハートフル・ケア　ありす

お待たせいたしました。ようやく新しい「生活介護事業所」の概要がまとまりましたので、皆さまにお知らせいたします。細部に関してはまだ決定していないところもありますが、概ね以下のようになりました。

生活介護事業所
「ハートフル・ケア　ありす」

- 営業日　月曜～金曜日
- 営業時間　8:30～16:30
- サービス提供時間　9:30～16:00
- 休業日　土・日　ゴールデンウィーク
  お盆（8月13日～15日）
  年末年始（12月29日～1月3日）
  その他事業所の指定する日

《主なサービス》
- 入浴サービス（希望者）￥300/回
- 送迎サービス（希望者）
- 食事（外注弁当等の予定）
- 介護全般

《主な活動・支援》
- 創作活動
- 日常生活支援
- 軽作業（リサイクル、清掃、園芸等）
- スヌーズレン的活動
- 地域交流（町内の清掃活動等）

《職員配置》
- 管理者1名　・サービス管理責任者1名
- 看護師1名
- 生活支援員常勤1名　非常勤若干名

衛生管理の期待の星！！

自動開閉式ゴミ箱「ジータ」くん3兄弟

弘前市の補助金を活用して、手をかざすと開く自動開閉式ゴミ箱を指導室と洗面所に設置しました。感染性のゴミ（マスクや紙コップ、使い捨て手袋など）を分別して使用しています。ゴミ箱に触れずに捨てられるので衛生的。子どもたちは手をかざしてパカッと口を開けるゴミ箱に興味深々。怖がったり面白がったり。上手に分別してくれています。

ウイルス対策の救世主！！

業務用加湿器「うるおりっち」さん

冬場の湿度がなかなか上がらず、ウイルス対策に不安があったところに救世主が。お手入れが簡単で加湿の能力が高く、空気清浄機能がついてウイルス対策もバッチリの加湿器。リースで置いています。冬中使って春にはメンテナンスに出し、大掃除をしてもらうので安心です。

設置してから1階指導室の湿度は安定の40％前後をほぼキープ。さすがに業務用という感じです。これからますます寒くなり、暖房は欠かせないので、湿度にも気を配りながら感染症対策を行っていきます。

理事長のつぶやき

「手で書くということ」

毎年年賀状の宛名を手書きで出している私。

パソコンでいろいろ便利にできるようになったが、私なりのささやかなこだわり。

合わせて近況報告などもちょこちょこと。で、そのちょこっとした言葉の漢字が出てこないのだ。

これでも遠い昔、学生時代は中国文学で漢詩を学び、たった3年間だが中学校の国語教師もしていたのに。

漢字を書けなくなったのは、手で書いていないからだと思う。日々文章は作るが、ほぼパソコンで打ち込んでいるため、書くのではなく選ぶ作業をしている。同音異義語などは、目で見て「これこれ」と変換している。それがいざ手書きをしようとすると、「あれ、どっちだっけか」となる。

教師をしていた時には、生徒の前で板書中に「あれ？」となるとすこぶる恥ずかしいので、前もって板書ノートを作る。怪しい字は何度も練習する。この「書く」という作業が覚えるためにはとても大切なのだと思う。

そういえばスケジュールも一時期スマホに入れ込んでみたが、入れて満足して忘れることが多くて、結局手帳に記入するスタイルに戻った。日付を確認して予定を手で書くことで、いくらか記憶の残りは良いようだ。

話を元に戻そう。1年に1度、手書きで年賀状の宛名を書くことは、「ああ、やっぱり文字を手で書くことを意識しないといけないな」と思い出すことにもなる。

そういえば一昨年の年末、久しぶりに3年日記を購入したのを思い出した。1月の途中で、やはり漢字が書けなくて挫折していた。

新しい年。日記の2年目は続けられるようにしたい。そうだ、スマホでなく辞書も引いてみることにしよう。